

注 意 報

平成16年度病害虫発生予察 注意報第2号

茶 クワシロカイガラムシ

1. 発生地域（対象地域） 県下全域
2. 発生程度 やや多
3. 注意報発令の根拠
 - 1) 4月上旬の巡回調査の結果、寄生株率は12.5%（平年5.6%）、発生圃場率は81.3%（平年21.7%、昨年50.0%）であった。
 - 2) 近年、発生圃が増加する傾向にある。
4. 防除上注意すべき事項
 - 1) 本虫は年3回（5月中旬～下旬、7月下旬～8月上旬、9月中旬～下旬）に発生するが、そのうち5月下旬のふ化直後の薬剤散布が最も防除効果が高い。
 - 2) 防除時期は地域や圃場によって異なるので、ふ化状況をみながら薬剤散布を行う。
 - 3) 発生が多い圃では、一番茶摘採後に深刈または中切を行った後、株内の枝や株元に薬液がかかるように十分量散布する。
 - 4) 発生を認めていない圃においては新たな発生に注意する。